



用者が安心して利用できるオストメイト対応型に改修、整備する考えがあるか。

答 オストメイト対応型トイレは、完全なものではないが、市民病院の一階と六階に設置してある。今後、身障者トイレを改修、整備していく必要があると認識している。

風疹ワクチン接種率の向上策は

問 「空白の年齢層」といわれている十五歳から二十四歳の風疹ワクチン接種率の向上策を伺う。

答 蒲郡市では法改正後も集団接種を行い、約九〇%の接種率である。未接

種の方には市広報や保健センターのホームページで周知し、接種するよう呼びかけている。

鎌田篤司（市政クラブ）

今後の蒲郡市政のキーワードは

問 蒲郡市の将来を示すキーワードである「住民協働」、「広域協力連携」、「産学官協力体制」、「高度情報化思考」についての見解を伺う。

答 市民、企業、行政がパートナーシップを結び、協働して街づくりを進める「住民協働」を更に進めていく。豊川流域圏一体化を視野に入れた「広域協力連携」は、より効果的にまた確実に進めていきたい。

産学官が協力して目標年次を定め、具体的な成果を目指す「三河湾環境チャレンジ実行委員会」がアオサ対策に取り組んでいる。今後は地元大学も活用した体制を構築して地震対策等の問題解決に努めたい。また「高度情報化」に対



応した市民電子会議室の開設を研究中である。より多くの市民意見を集約した街づくりを進めていきたい。

日恵野佳代（日本共産党）

児童クラブの充実を

問 土曜日や、四月一日から入学式までの開設を求め。また今後の実施計画はどうか。

答 開所日数を増やすことは前向きに取り組むべき課題であるが、現段階では未設置小学校区への開設を最優先と考える。今後は全ての小学校を対

象に児童クラブの設置を目指している。

男女の人権を尊重する社会に向けて

問 夫や恋人からの暴力（DV）や性的いやがらせ（セクハラ）の予防、相談、救済体制は。

答 市広報等を通じ周知啓発を行うとともに、各種相談窓口を設置している。また警察も参画する会議で対応を協議している。より一層関係機関との連携強化を図っていきたい。

大向正義（未来の会）

市が委託するデイサービス事業について

問 市が委託する必要性がなくなった大塚・三谷デイサービスセンターは民間にできることは民間へという時代の要請に答え民間化したらどうか。

答 デイサービスを行う事業者は増えているが、高齢化が進むことを考えると、現時点では市の施設で

三谷デイサービスセンター



のサービスは必要だということ認識を持っている。

事務事業評価の現状と今後の方向性は

問 既存事業の廃止や効率化のため全事業の事務事業評価を一年間で行い、第三者を入れた外部評価を導入すべきと思うが、現状と今後の方向性はどうか。

答 七月に職員を対象に説明会を開き三年間で全課全事業を評価していく予定で、外部評価も研究していくつもりである。